



福島県郡山市 郡山しんきん開成山プール (開成山屋内水泳場)

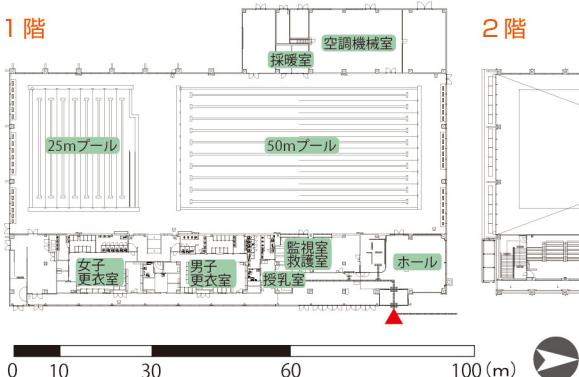
施工地／福島県郡山市開成一丁目5番12号
竣工年月／平成29年7月
敷地面積／8,980.95m²
延床面積／6,499.63m²
構造／鉄骨造+鉄筋コンクリート造
地上2階 地下1階
50m×10コース 公認プール
(水深2m)
25m×8コース 公認プール
(水深1.4m～0m 可動床)
専用駐車場／47台

未来世代のトップスイマーが競い合う

2011年3月11日に発災した東日本大震災は福島県内にも甚大な被害をもたらしました。前例のない災害と事故により、あれから6年半の時間が経っても未だなお住民の皆さまは避難生活を余儀なくされ、多くの子どもたちが狭く不便な仮設住宅などでの生活で自由闊達に運動や遊びをする機会が長く失われております。

本施設は震災の影響で使用不可能となった郡山総合運動場の屋外の開成山水泳場を屋内水泳場として建設計画されました。東日本大震災以降、運動の機会が減少していた幼児を含む子どもたちをはじめ、全ての施設利用者が安全に安心して、かつ快適に利用できる施設を目指して、プールは50mプール10コースと可動床の25mプール8コースとし、(公財)日本水泳連盟公認の国内競技認定水泳場として整備されました。近い将来、福島の子どもたちが日本のトップスイマーとして記録を競い合う場にふさわしいプールがここに竣工し、ネーミングライツにより、「郡山しんきん開成山プール」として市民に親しまれる施設として誕生いたしました。

平面図



通年利用プールへの改築

本施設は改築前は屋外プールとして利用されていました。改築後は50mと25mのプールや各諸室を、水面の波をモチーフとした曲線形の大屋根で包みこみ、周辺環境に調和させて華美にならない、シンプルな外観デザインを心がけて設計しました。隣接して陸上競技場や野球場など各種大型運動施設が集約する地に建つ建物として、大ボリュームのスケール感を出しつつも、威圧的にならないよう、下屋部分の高さを抑え、ヒューマンスケールに近づける工夫をいたしました。大屋根は長手約92m、短手約50mの大空間を無柱で構成するために、軽量で強靭な三角形の骨組み構造体の立体トラス工法を採用しております。



屋外にあった当時の旧開成山水泳場



(公財)日本水泳連盟公認「50m一般プール」

柔軟な運用ができるプール

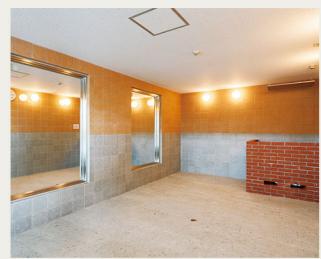
25mプールは水深を調整できる昇降式の床を内蔵し、小さな子どもから大人まで年齢層や体力、体格の合わせた設定ができ、様々な利用者に合わせた柔軟な運用ができるようにいたしました。50mプールは水深を2mとして、本格的な競泳競技にも対応できる構成とし、(公財)日本水泳連盟「国内一般プールA」の公認を得ております。

内部はプール利用者と見学者との動線がエントランスホールから明確に分離された、わかりやすい動線計画としました。また、会議室やエントランスホールの配置を競技時などの大会本部や報道関係諸室等に割り振れるように配慮いたしました。事務室や監視室などを連続して集約し、プールに面した配置とすることで施設運営上の機能性や安全性を確保できるようにしております。

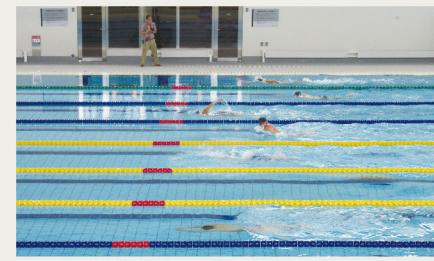
環境面では再生可能エネルギーを利用し、太陽光発電、太陽熱利用、地中熱利用の各設備を設けております。



634名収容の見学スペース



サウナがある採暖室



オープニングセレモニーでの市民代表による泳ぎ初め



母と子に優しい授乳室



再生可能エネルギーの活用を示すパネル